

**私立高校と公立特別選抜校の志願先を決定
～第2回 進路 懇 談 会～**

来週の12月16日(月)から第2回進路懇談会が始まります。この懇談会では、私立校、公立特別選抜校の志願先を決定します。また公立一般選抜校への見通しも検討します。家族とよく相談したうえで懇談に臨んでください。

この懇談で決定したことは、24日(火)に3年の先生方全員と校長先生、教頭先生、その他の主だった先生方で会議をもち、生徒全員一人ひとりの志願先についてその妥当性を検討します。その時「再検討した方がよい」という結果が出た場合は、担任の先生より連絡します。場合によっては再度懇談を実施することもあります。



ところで、皆さんは「夢」を忘れていませんか？ 前にも述べたとおり、高校等は自分の夢を実現するための通過点です。毎年、高校等の名前や偏差値に惑わされて、いつの間にか「夢」から外れた進路を選択してしまい、途中で退学して受験し直す人がいます。しっかりと将来を見据えて高校等を選んでください。たとえば、府立工科高校を考えている人は注意してください。名前は同じ「工科」ですが、内容は高校によってかなり違います。「系」や「専科」を確認し、自分の希望する内容の学習ができる高校を選んでください。

問題集は1回ではなく複数回解こう

2学期の期末テストが終わりました。努力してきたことが成果として実ったのでしょうか？ 2学期の試験は終わりましたが、進学を控えているみなさんは2月の私立高校入試、公立高校特別入試、3月の公立高校一般入試を控えています。入試で合格できる力を確実につけるために、今まさに3年間の総復習の勉強が必要です。来週の進路懇談の期間は午後は授業がありません。勉強する時間は普段以上に取れるはずです。土曜日、日曜日も含めて毎日の勉強を計画的に進めていきましょう。

進路獲得に向けた復習のための勉強方法で参考になる文章を紹介しておきます。昨年度の生徒会執行部の新聞「NEWSmile」(昨年11月発行)に掲載されていたものです。

読んだのを覚えている人もいるかもしれません。

「ここで一つ、執行部から勉強方法を教えたいと思います！」

●問題集は、1回だけやるのではなく、3回しています。やり方は、1回目はノートに答えを書き、2回目は1回目で見違えた問題だけを解き、3回目に問題集に書きこみます。ぜひこのやり方をやってみてください。」

問題集をやるときに、解けなかった問題をそのままにしていますか？宿題か何かで出されたときに解答を丸写しにしているだけということはありませんか？

問題集を解くのは、自分の勉強の不十分点を見つけて理解を深め、実際に同じような内容の問題が出たときに解けるようになるためなのです。上記のような勉強のやり方をすれば理解は確実に深まると思います。

大阪市統一テストの結果は進路に向けた勉強の励みに…

みなさんが10月2日に受けた大阪市統一テストの結果が返ってきていると思います。たとえば、大阪市全体の中である科目の成績が上位10%以内に入ったら調査書の成績の5が保証されるということになります。勉強を頑張ってきて好成績が取れたら、それだけ努力をしたということが評価されたわけですから、進路獲得への励みにしてほしいと思います。

ただ、以前、大阪市の中で「高い得点を取ったので成績が保証される」ということを「これ以上この科目は勉強しなくてよい」とか「宿題やノートはもうやらなくてよい」と誤って受け止めて、勉強する意欲が鈍ってしまう生徒がいたそうです。

統一テストは3年生の10月1日までに勉強した内容から問題が出されます。そして入試の本番では10月以後に授業で勉強した内容も同じように出題されます。

たとえば、社会科の公民的分野を見てみましょう。統一テストで出るのは公民的分野の内容の10パーセント程度です。入試では公民的分野の全ての範囲が25%から30%程度出題されます。10月以後に勉強する努力の手を緩めたら、肝心の入試の時に思うような成績をとれない、ということになりかねません。公立高校でも私立高校でも、可否は入試問題の得点が半分くらいかそれ以上の比率で決められる場合が多いです。

今回の進路懇談で、具体的に希望の進路先を決定し、その進路獲得のために、最後まで努力を続けるようにしてください。